

社会学部部報

学会消息

- ◇昭和41年12月21日 学部研究会 発表者 遠藤惣一講師「中小企業の労使関係 事例研究」、光吉利之講師「山間部農村における家のモビリティ」
- ◇昭和42年3月4日 朝日新聞大阪本社より本学部藤原教授を通じて、ロンドンの「ザ・タイムズ」のバックナンバーひと揃いの寄贈を受けた。1914年（大正3年）から1941年（昭和16年）まで27年間の「ザ・タイムズ」を毎月別に製本したものの凡そ300余冊である。1914年は第一次世界大戦の勃発した年であり1941年は第二次世界大戦の始まった年であるが、その間の「ザ・タイムズ」は資料としても貴重なものである。
- ◇3月15日 学部研究会 発表者 武田建助教授「フランクルの心理療法」、津金沢聡広助手「放送媒体と言論の自由」
- ◇3月31日 蔵内数大教授定年のため退職、本岡五男助教授、三村芙美子助手は退職された。
- ◇5月24日 学部研究会 発表者 大道安次郎教授「都市社会学の新しい動向」、杉原方教授「梅毒による精神疾患について」
- ◇6月28日 学部研究会 発表者 杉山貞夫助教授「ペース制御に関する諸問題」、熊谷一綱宗教主事「イエスと信仰」
- ◇7月16日 倉田和四生助教授は外国留学を終え、帰学。
- ◇8月23日 田中国夫教授は外国留学を終え、帰学。
- ◇9月4日 武田建助教授は、約1ヶ年の予定で Merrill-Palmer 研究所へ留学の為、出発。
- ◇9月20日 森川甫講師は外国留学を終え、帰学。
- ◇9月27日 学部研究会 発表者 嶋田津矢子教授「結婚カウンセリングのケース・ワークの展開」、張光夫助教授「19世紀前半、英国ジャーナリズムの階級的対応」
- ◇10月1日 紺田千登史講師（仏語担当）就任
- ◇11月1日 学部研究会 発表者 佐々木薫講師「Return Potential Model による集団規範の研究」、清野正義助手「現代日本の社会変動について」

会員の新著

- 塩原勉助教授『変動期における社会心理』(共著) 培風館、42年3月。
- 武田建助教授『カウンセリングの理論と方法』理想社 42年4月。
- 万成博教授『産業社会学』(共著) 有斐閣双書、42年5月。

◇日本新聞学会

1966年度秋季研究発表会は昭和41年11月12、13日法政大学で開かれた。「アメリカのジャーナリズム教育」上智・川中教授、「文化大革命下の中国新聞」サンケイ・菅記者の特別報告のほか5氏の個人研究発表があった。本学部からは藤原教授、津金沢助手が出席した。なお第1日の理事会で1967年度大会（春季）は愛媛大学文学部で開くことになった。

◇日本アメリカ文学関西支部大会

12月10日 柄原知雄教授が「ジェイムズ文学の問題点と着眼点—今後ジェイムズをどう読むか」と言う題で講演を行なった。

◇日本人間工学会

日本人間工学会より依頼されていた本学部主催第8回大会開催の件は、古武学長を大会会長とし杉山助教授が大会事務局長をつとめ準備を行っていたが去る5月20日21日の両日、無事終了した。全国より250名をこえる心理学者、生理学者、工学者、技術者の参加を得、発表件数33研究、更に部会討論会では、人間工学の基本的諸問題のうち「作業負担のとらえ方」「危機状態のとらえ方」等、10の問題について参会者の熱心な討論がなされ、今後の人間工学発展の方向が再確認された。

◇関西社会学会

第18回大会は5月20日、21日大阪市立大学で開催され、本学から多数の発表があった。(1)都市、産業部門では大道教授「新しい都市理論への試み」、小関教授「フランスにおけるビュロクラシーについて」の二つと、重点部会の「伝統産業」関係では万成教授、牧助教授、清野助手の共同研究「酒造りの労働の組織」の発表があった。

◇日本経済政策学会

日本経済政策学会の昭和42年度大会は、5月26日、27日の両日にわたって、青山学院大学において開催された。会員約200名が参加し、充実した研究報告と活発な討論が行なわれて盛会であった。本学部からは丹羽助教授が出席した。

◇理論・計量経済学会西部部会

理論経済学会、計量経済学会の両学会合同の昭和42年度西部部会は、6月10日、神戸大学において名古屋以西のエコノミスト、エコノメトリシャン約100名の参加をえて開催され、終日、熱心な研究報告と討論が行なわれた。本学部からは、丹羽助教授が出席し、「貿易マトリックスによる共産圏貿易構造の分析と予測」と題して、研究報告を行なった。

◇エコノメトリック・ソサエティー極東大会

計量経済学会 (Econometric Society) の1967年度極東大会は、6月29日、30日、7月1日の3日間にわたって、アジア諸国のほか欧米からの参加者も含めて、内外の計量経済学者約200名が参集し、東京の日本経済新聞社ビル会議場において開催された。昨年の大会が理論的な研究の報告に重点が置かれていたのに対して、本年度の大会は実証的な研究報告にみるべきものが多かった。低開発諸国の学者たちによる計量分析も、ようやく本格的な水準に達しつつあることがうかがわれ、心強く感じられた。本学部からは、丹羽助教授が出席した。

◇日本時事英語学会

9月2日大阪狭山の帝塚山学院大学で開催された日本時事英語学会関西支部第二回研究集會に本学西尾朗教授が出席した。

◇経済社会学会

第三回大会は9月30日、10月1日本学社会学部において開催され、産業社会の発展と経営と題するシンポジウムが行なわれ、盛会であった。本学から万成教授の「伝統産業における労働組織」について発表があった。

◇国際経済学会

国際経済学会の昭和42年度大会は10月14日、15日の両日、国学院大学において開催された。会員約150名が参加し、とくに国際経済に最近見られる地域主義をめぐって、活発な討論が行なわれた。本学部からは丹羽助教授が出席した。

執筆者紹介

(掲載順)

大道安次郎	社会学部教授
小関藤一郎	社会学部教授
領家 稜	社会学部教授
万成 博	社会学部教授
牧 正 英	社会学部助教授
清野 正義	社会学部助手
山中 良知	社会学部教授
春名 純 人	社会学部講師
藤原 恵	社会学部教授
定平 元 四 良	社会学部教授
嶋田 津 矢 子	社会学部教授
栃原 知 雄	社会学部教授
高島 進 子	神戸女学院大学講師 (元社会学部助手)

1967年12月10日 印刷

1967年12月15日 発行

編集 発行人 余 田 博 通

印刷所 協和印刷株式会社

京都市右京区西院清水町20

電話 (312) 4010~4012

発行所 関西学院大学社会学部研究会

西宮市上ヶ原一番町

関西学院大学社会学部内

電話西宮 ㊤ 0912 (代表)

㊤ 3512 (直通)